

【島のくらしの情報】

利尻島(利尻富士町)

<p>① 仕事(収入)の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内には、水産業をはじめとした第一次産業従事者と観光などのサービス業従事者が多くいます。 ・町では、20代から30代くらいまでの漁業後継者になってくれるような人材を求めています。
<p>② 住居の状況 (貸家、空き家など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内には公営住宅(308戸)が整備されています。移住を希望される方には個別に対応いたします。
<p>③ 医療環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内には2つの診療所があり、それぞれ医師1人ずつが常勤し、住民の健康を守っています。 ・歯科診療所も町内に2か所あります。 ・急患は北海道の防災ヘリコプターや道警ヘリなどで本土の病院へ運んでいます。 ・妊産婦は、本土の病院での検診・出産が必要となります。／ 町では妊産婦の方の負担軽減のため、海上運賃などの助成を行っています。
<p>④ 福祉環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所は2つあり、待機児童はおりません。 ・老人保健施設、特別養護老人ホーム、デイサービスセンターを町直営で管理運営しています。 ・町の居宅介護支援事業所を中心に、ホームヘルパーの派遣など在宅福祉介護サービスを民間に委託しながら在宅サービスの充実を図っています。
<p>⑤ 教育環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鴛泊地区に鴛泊小学校(児童114人、教員11人)、鴛泊中学校(生徒44人、教職員12人) ・鬼脇地区に利尻小学校(児童12人、教職員9人)、鬼脇中学校(生徒14人、教職員12人) ・高校は利尻町に利尻高校があります。

<p>⑥ 上下水道・電気・ガスの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島内の水道利用状況(普及率)は100%です。 ・し尿処理は、約80%が水洗化、残りを計画収集にて対応しています。 ・ガスはプロパンです。 ・電気は、島内にある火力発電所を利用しています。
<p>⑦ 本土との交通手段 (費用、時間、便数など)</p>	<p>【航路】フェリー 稚内港から鴛泊港へ。 フェリーを利用:ハートランドフェリーで100分(1日2~4便)・大人2,340円(二等)</p> <p>【空路】 丘珠空港から利尻空港へ約1時間(1日1便)・大人 24,200円 新千歳空港から利尻空港へ約1時間(1日1便)・大人26,300円 ※6月~9月の季節運航</p>
<p>⑧ 島内の交通手段 (費用、便数など)</p>	<p>【島内交通】バス <Aコース>利尻町杵形から鴛泊地区へ30分(1日5~6便。) <Bコース>利尻町杵形から鬼脇地区経由で鴛泊地区へ1時間20分(1日5便)。 ※このほか島にタクシー会社がありますが、台数が少ないので、利用する場合は事前予約がおすすめです。</p>
<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>【買い物場所】 商店13軒、ホームセンター2軒、コンビニ2軒、レストラン・食堂等二十数軒あります。 【物価例】 2016年10月の価格 ガソリン(1L)135円、灯油(1L)64円 ※ガソリン価格は離島ガソリン流通コスト支援事業(経産省補助)により15円/L引き下げられた額です。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>漁業者になるための移住された方が10数名おります。</p>

<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>漁業体験研修「漁師道」の体験者には、体験期間2週間の宿泊費は受入漁家の負担としています。(受入漁家への宿泊若しくは受入漁家が用意した宿泊施設への宿泊となります。)</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	
<p>⑬ そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報</p>	<p>島にはコンビニ3件やドラックストア1件もあり、普段生活する中で不便を感じる点は少ないです。島内全域に光ケーブルが敷設されておりインターネット環境にも不便はありません。</p>